



飼養衛生管理基準（鶏、家きん）



改正新旧

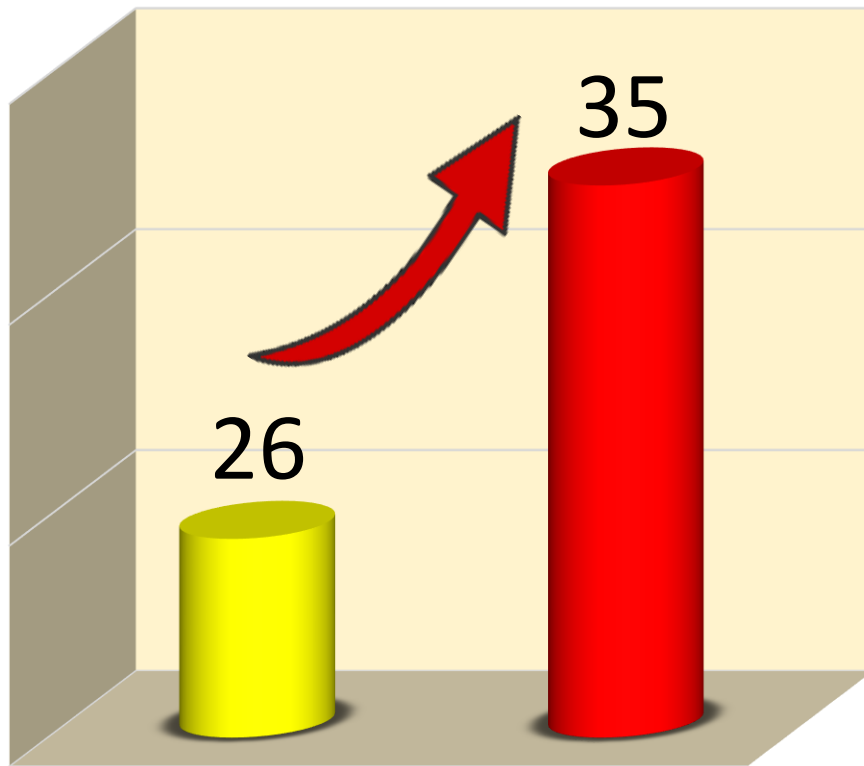
2020.10.1施行^{（記入なし）}
（一部施行: 2021.10, 2022.4）^{（記入あり）}



宮崎大学農学部獣医学科
産業動物衛生学研究室

末吉 益雄

改正前後



旧

新

えっ、
35項目に増えた！
アア～面倒くさい！
勘弁してくれえ～！

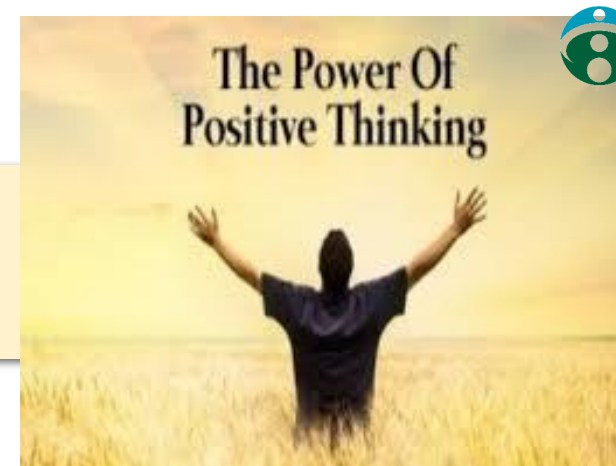
ネガティブ・シンキング



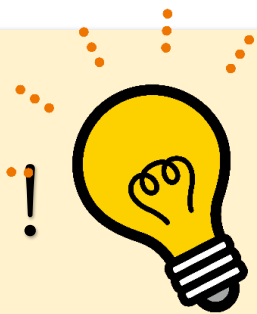
飼養衛生管理基準



ポジティブ・シンキング



飼養衛生管理☑チェックは、自分たちでやるから、
行政は 国、県(市町村)に侵入させない方策に重きを！
に、転換、**攻め**の防疫！



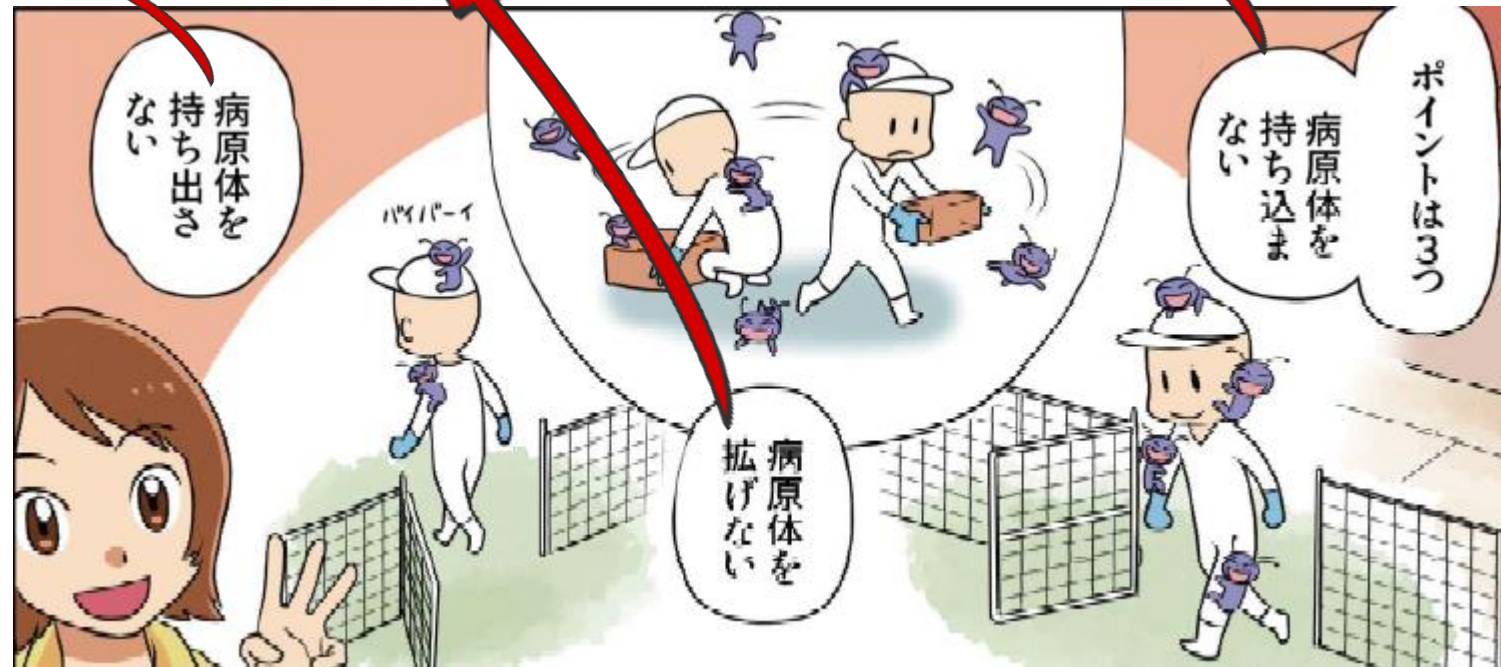
(私の要望!!)

飼養衛生管理☑チェック巡回に家保の時間を使わせない！
自分たちでやる(例: 農場5年以上経験者で講習会受講者)！
そうなるためには、現行の基準以上で行政を納得させる！
その上で、行政(国、県、市町村)には別業務をやってもらう！

飼養衛生管理基準--流れ

- I 防疫の基本
- II 衛生管理区域への病原体侵入防止
- III 衛生管理区域内の病原体拡大防止
- IV 衛生管理区域外への病原体拡散防止

骨幹



出典: 農林水産省 飼養衛生管理基準ガイドブック

飼養衛生管理基準--流れ

I 防疫の基本

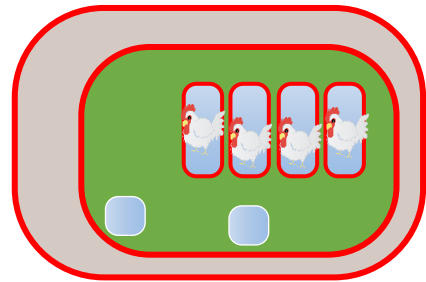
II 衛生管理区域への病原体侵入防止

III 衛生管理区域内の病原体拡大防止

IV 衛生管理区域外への病原体拡散防止

農場内への病原体侵入防止

家きん舎内への病原体侵入防止



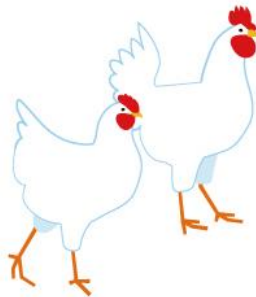
〔人〕

〔飼養環境〕

〔家きん〕

〔物品〕

〔野生動物〕





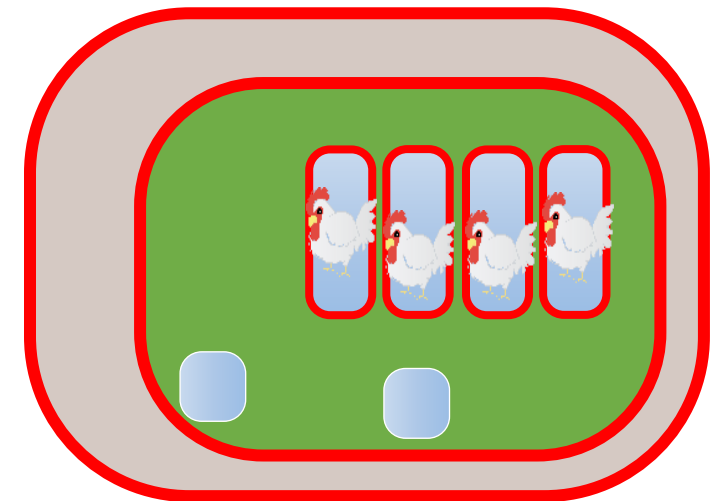
飼養衛生管理基準（鶏、家きん）



I-防疫の基本



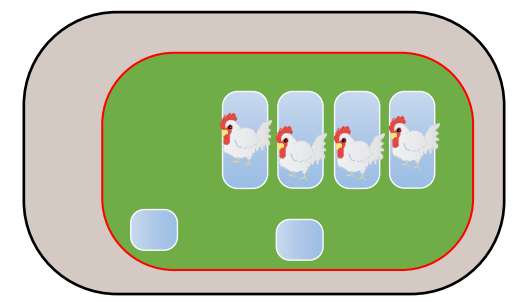
宮崎大学農学部獣医学科
産業動物衛生学研究室
末吉 益雄





I 防疫の基本〔人〕

1 所有者の責務

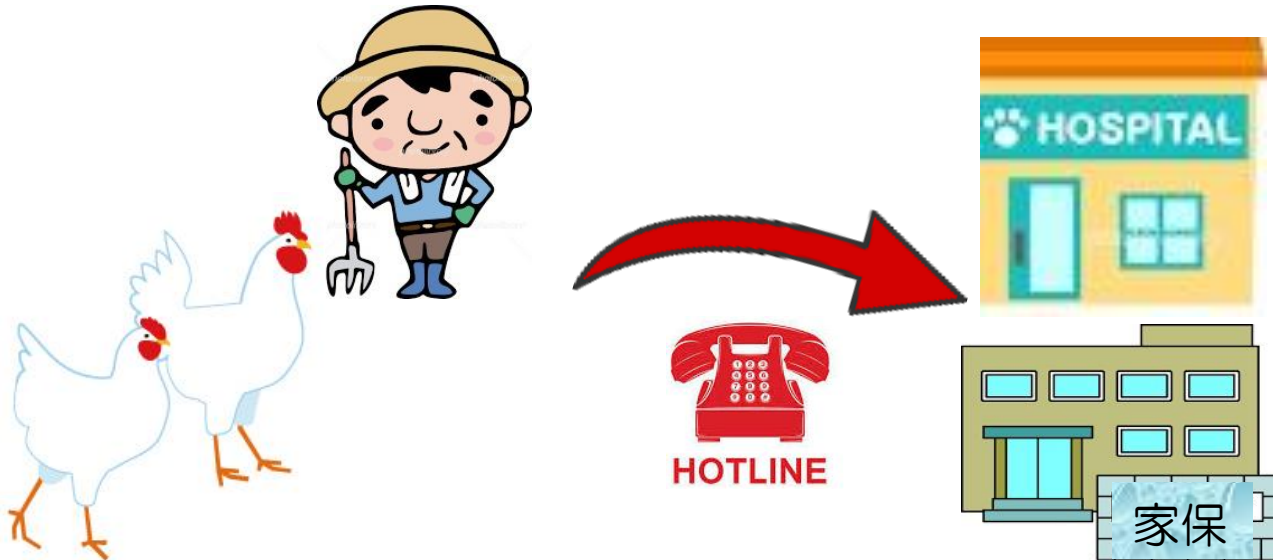


新

旧

所有者は、伝染病予防とまん延防止の責任がある
農場防疫体制構築
地域の衛生管理意識を高め、衛生管理を行う
所有者以外の管理者は、常時連絡可能体制確保し、確実に実施

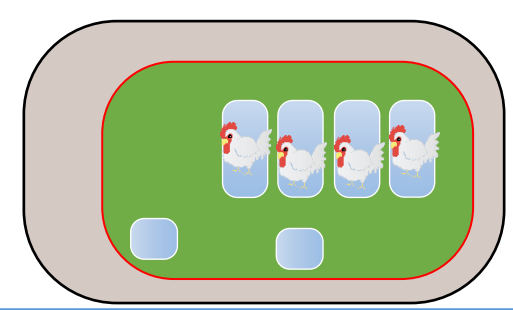
所有者は関係法令遵守





I 防疫の基本〔人〕

2 防疫の最新情報の把握と実践

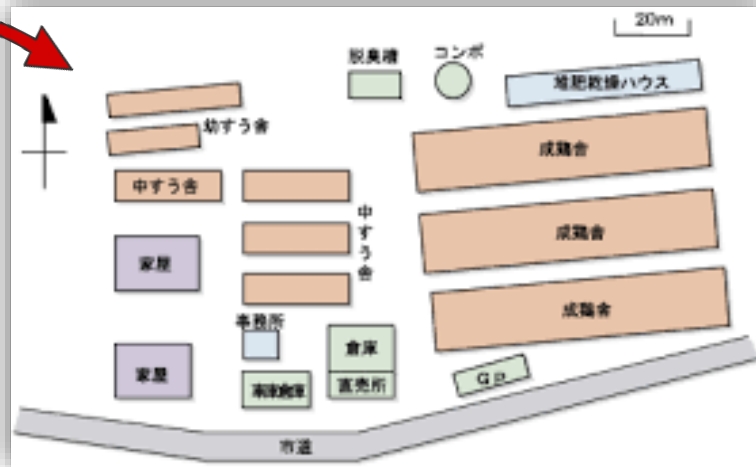


新

旧

同じ ←
防疫体制と飼養衛生管理状況を定期的点検・改善
農場平面図作成
⇒ 消毒設備等の衛生対策設備の設置箇所を明示

家保の伝染病情報の確認
家保等開催の講習会参加
農水省HPで家畜防疫情報を把握
家保の検査を受け、指導に従う
関係法令遵守 → 1の1



最新情報

農林水産省

🔍 逆引き事典から探す

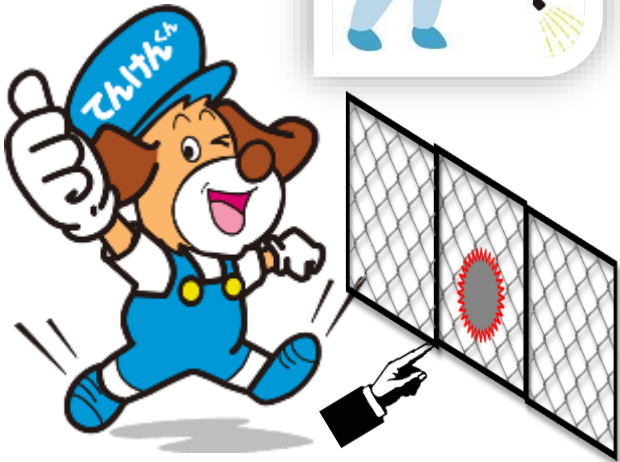
🔍 組織別から探す

会見・報道・広報

政策情報

ホーム > 消費・安全 > 鳥インフルエンザに関する情報

鳥インフルエンザに関する情報





3 飼養衛生管理マニュアル作成と従事者等への周知徹底

新

旧

なし

マニュアル作成(専門家意見を反映)

従事者と外部事業者のマニュアル遵守(**マニュアル冊子配布**、看板設置)

伝染病情報を従事者と外部事業者に周知徹底

- (1) 従事者が当該農場以外で行う動物飼養と狩猟禁止
- (2) 海外渡航時と帰国後の注意
- (3) 海外からの肉製品持込み(郵便物も)の注意喚起
- (4) 農場内への不適切な物品の持込み禁止
- (5) 工具、機材等を農場内へ持ち込まない取組
- (6) 持ち込む工具、機材、食品等の取扱い
- (7) 猫等の愛玩動物の衛生管理区域内飼育禁止
- (8) 野生動物の衛生管理区域内への侵入防止
- (9) 農場における防疫のための更衣
- (10) 手指、衣服、靴、物品、車両、施設等の洗浄と消毒方法、消毒薬種類、作用時間と乾燥時間等





I 防疫の基本〔人〕

(施行: 2022. 2)



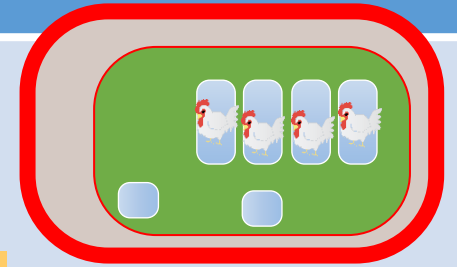
3 飼養衛生管理マニュアル作成と従事者等への周知徹底

新

旧

なし

マニュアル作成(専門家意見を反映)
従事者と外部事業者のマニュアル遵守(配布、看板設置)
伝染病情報を従事者と外部事業者に周知徹底



注意喚起

関係者以外の



立入禁止



I 防疫の基本〔人〕

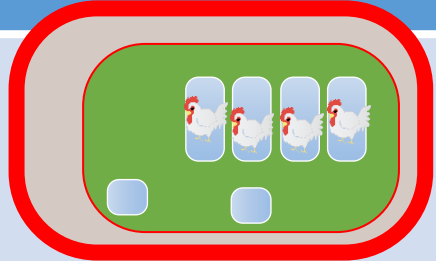
(施行: 2022. 2)

3 飼養衛生管理マニュアル作成と従事者等への周知徹底

新

旧

- (1) 従事者が当該農場以外で行う動物飼養と狩猟禁止
- (2) 海外渡航時と帰国後の注意
- (3) 海外からの持込み(郵便物も)の注意喚起



なし



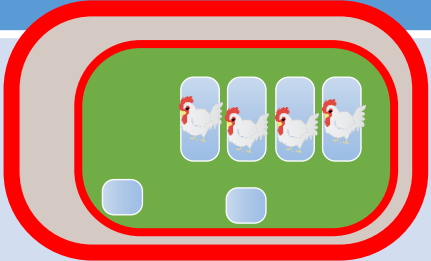


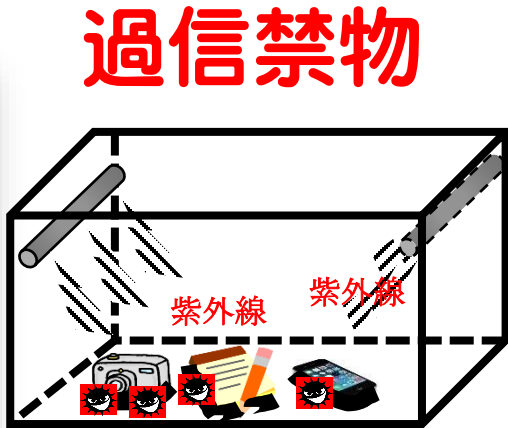
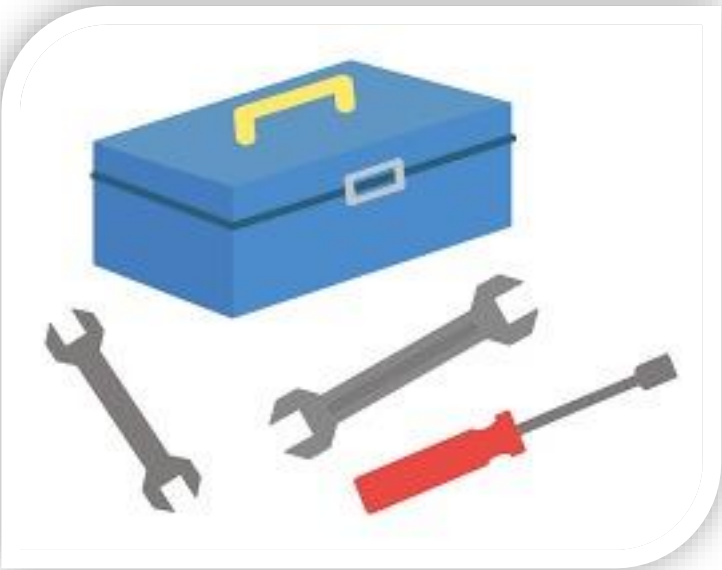
I 防疫の基本〔人〕

(施行: 2022. 2)



3 飼養衛生管理マニュアル作成と従事者等への周知徹底

新		旧
(4) 農場内への不適切な物品の持込み禁止 (5) 工具、機材等を農場内へ持ち込まない取組 (6) 持ち込む工具、機材、食品等の取扱い (7) 猫等の愛玩動物の衛生管理区域内飼育禁止		 なし



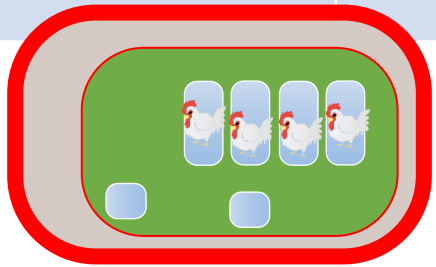
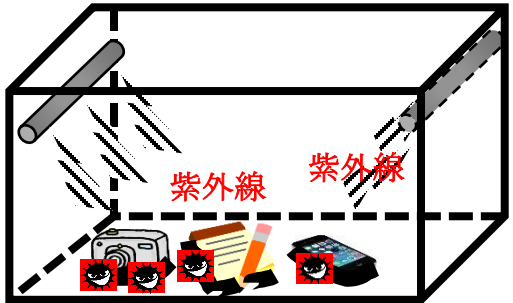
I 防疫の基本〔人〕



(施行: 2022. 2)

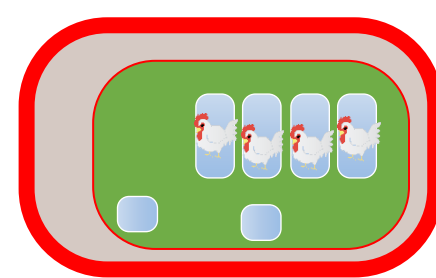


3 飼養衛生管理マニュアル作成と従事者等への周知徹底

新	旧
(8) 野生動物の衛生管理区域内への侵入防止 (9) 農場における防疫のための更衣 (10) 手指、衣服、靴、物品、車両、施設等の洗浄・消毒方法、消毒薬種類、作用時間と乾燥時間等	なし
         過信禁物 	



I 防疫の基本〔人〕



4 記録作成と保管

新

旧

同じ ←
(1)・・・(同)・・・消毒の実施の有無(車両消毒の有無)と出入口等の台帳記入、
(・・・(同文)・・・)

記録(1年間以上保存)
(1)衛生管理区域立入者(従事者以外)の氏名、住所、所属、年月日、目的、○(国、地域名、畜産関係施設等への立入有無(過去1週間以内に海外から入国・帰国者の過去1週間以内に滞在した全て)
観光牧場等(不特定多数者が立入施設): 病原体の持込みと持出し防止規則作成(家畜防疫員適切確認)はこの限りでない。

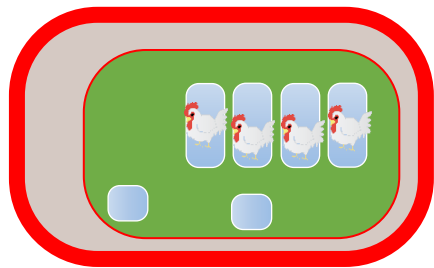
同じ ←



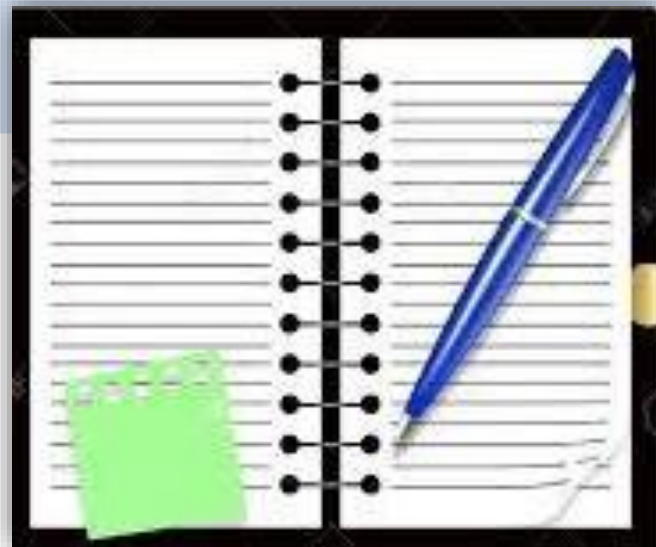
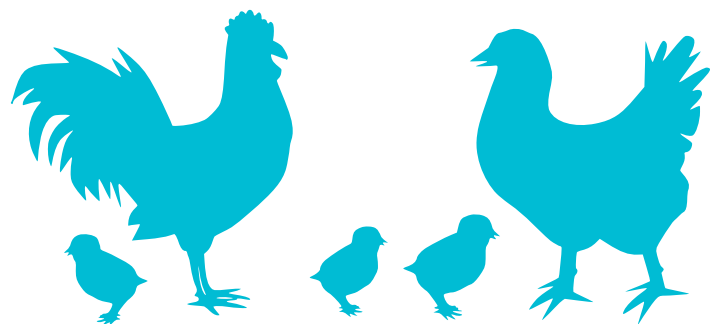


I 防疫の基本〔人〕

4 記録の作成と保管



新	旧
(2) 同 (3) 同 (4) 同 (5) ・・同・・・獣医師の診療結果と投薬等の 処置状況 (6) 家保、担当獣医師等の指導内容	(2) 従業者海外渡航滞在期間、国(地域)名 (3) 導入家さんの種類、羽数、健康状態、導入元の農場等名と導入年月日 (4) 出荷(移動)家さん種、羽数、健康状態、出荷(移動)先農場等名と出荷(移動)年月日 (5) 家さんの異状有無と症状、羽数、日齢



I 防疫の基本〔人〕

5 通報ルール作成等

※大規模

鶏・うずら: 100,000 羽以上
あひる外家きん: 10,000 羽以上

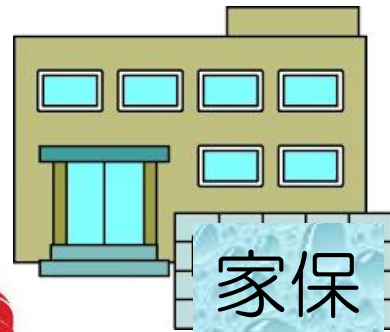
新

旧

同じ

大規模所有者:

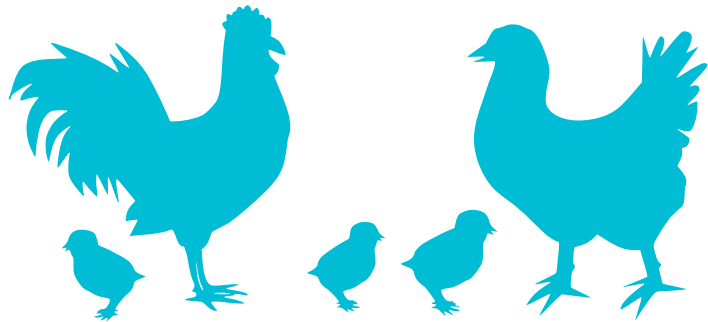
従業員が特定症状を発見したときは、所有者(管理者)の許可を得ずに家保に通報することを規定を作成し、全従業員に周知徹底する
伝染病の発生の予防とまん延防止の情報を全従業員に周知徹底



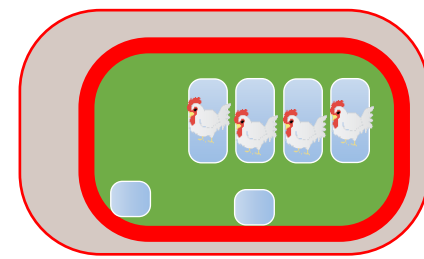
I 防疫の基本〔人〕

6 獣医師等の健康管理指導

新	旧
削除 同	大規模所有者: 農場ごとに、家保と緊密な担当獣医師(診療施設)を定め、定期的に家さんの健康管理指導を受ける



A cartoon-style illustration of a white chicken with a red comb and wattle, standing on a patch of brown ground. In the background, there is a wooden barn with a grey roof and a fence. The sky is blue with white clouds. The text '© 2010 P. J. Moore' is written at the bottom.



新

18

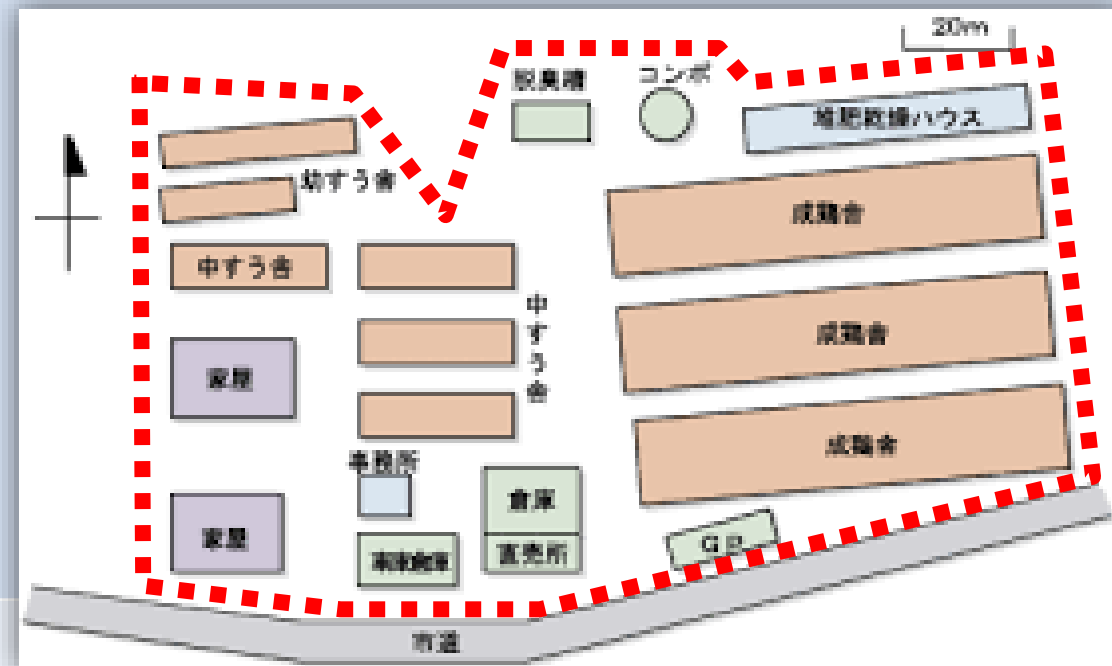
同

衛生管理区域:

家きん舎、家きんに直接接触する物品保管場所、家きんに直接接触した者が消毒、衣服と靴の交換（家きん舎ごとに行う消毒並びに衣服及び靴の交換を除く。）を行わずに行動する範囲の全てを網羅

家きん、資材、死体等の持込み、持出し場所
が可能な限り境界に位置するよう設定する

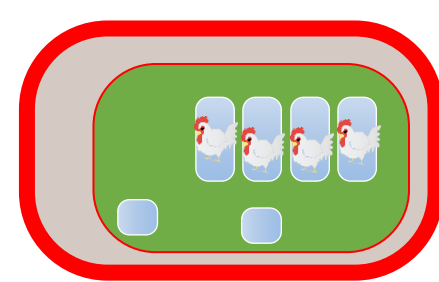
衛生管理区域を設定し、衛生管理区域とそれ以外の区域とに分け、両区域の場所が明確に分かるようにする
出入口の数が必要最小限にする





I 防疫の基本〔飼養環境〕

8 埋却等準備



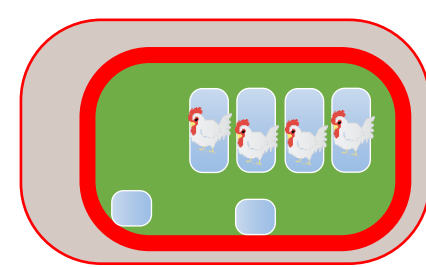
新	旧
同	埋却地 (0.7m ² /100羽、150日齢以上) 確保 (焼却・化製) の準備





I 防疫の基本〔飼養環境〕

9 愛玩動物飼育禁止

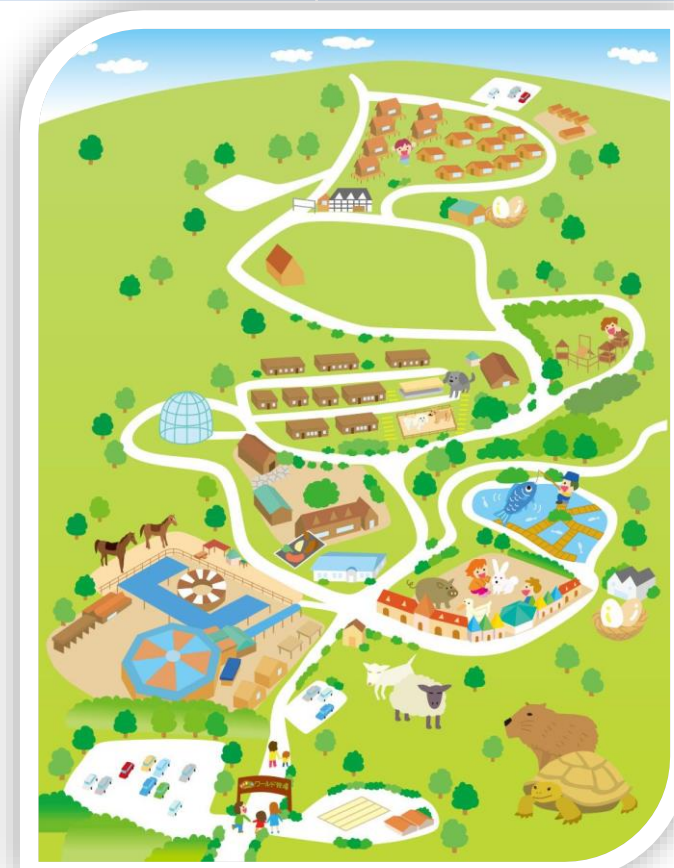
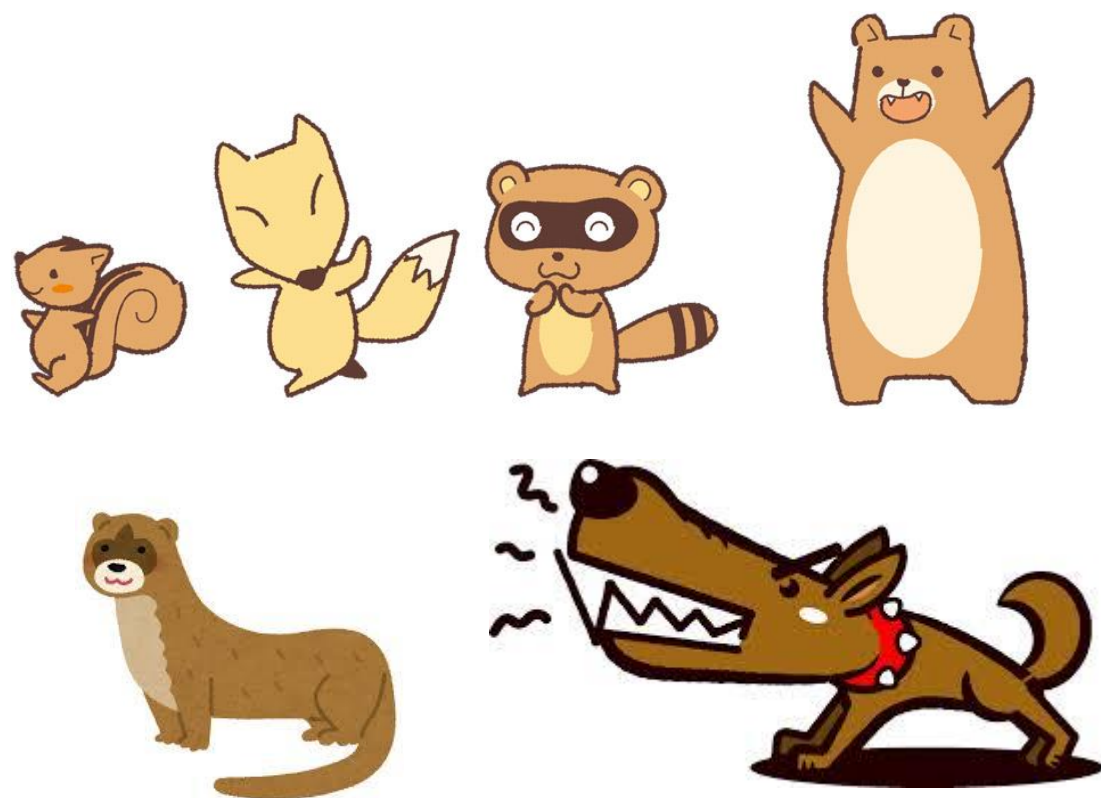


新

旧

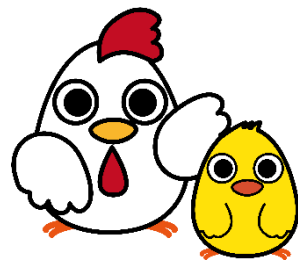
愛玩動物(猫等)の衛生管理区域内への持込み・飼育の禁止
(愛玩動物の飼養を業務とする観光牧場等において、飼育場所を限定する場合を除く)

なし



I 防疫の基本〔鶏〕

10 密飼い防止

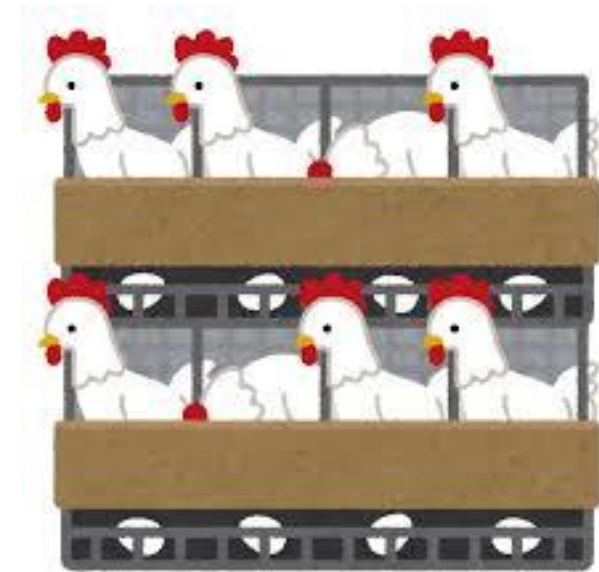


新

旧

同じ

健康に悪影響な過密飼養の禁止





飼養衛生管理基準（鶏、家きん）



Ⅱ-衛生管理区域への 病原体侵入防止

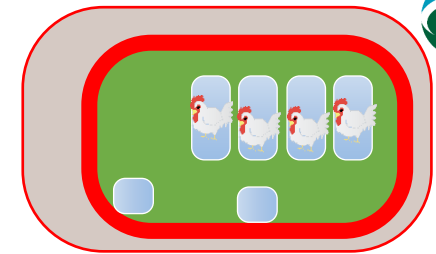


宮崎大学農学部獣医学科
産業動物衛生学研究室
末吉 益雄



Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔人〕

11 衛生管理区域への不必要者立入制限



新	旧
前述	出入口数を必要最小限とする 不必要者の域立入禁止 立入者の家さん接触機会を最小限にする 出入口、飼養管理関連施設付近の看板設置 (観光牧場等での家畜防疫員が適切と確認した衛生管理区域に出入り時の病原体持込み・持出し防止規則作成(出入口における手指・靴消毒など)がある場合、この限りでない。)
同	

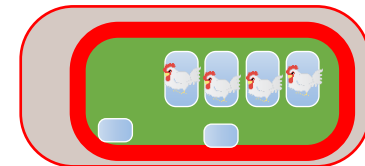


注意喚起





Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔人〕



12 他畜産関係施設等立入者等の衛生管理区域立入時措置

新

旧

…同…

(シャワーによる身体洗浄その他の必要な措置
をとった上で、やむを得ずの立入除く)

当日に等の立入者、入帰国者(過去1週間以
内)を立入らせない(必要がある場合を除く)

(当該農場の従事者、家畜防疫員、獣医師、飼料運搬業者その他の畜産関係者を除く)

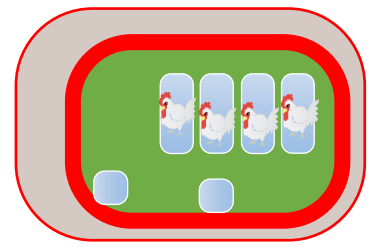
過信禁物





Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔人〕

13 衛生管理区域立入者の手指消毒等



新	旧
同じ (・衛生管理区域 専用手袋着用の場合…)	当域と家きん舎の出入口付近に消毒設備を設置 立入者の手指洗淨、消毒、靴の消毒をさせる (農場の消毒設備と同等以上の効果のある消毒設備を携行し、出入口付近で消毒をする場合と〇〇〇を除く)



重要

過信禁物



油断大敵

注意

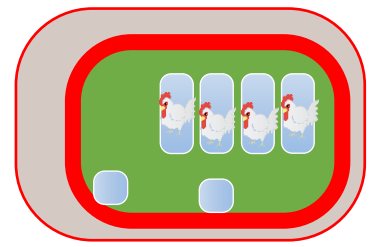
過信禁物

注意



Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔人〕

14 衛生管理区域専用衣服・靴設置と使用



新

旧

- 同 ←
- 着脱前後の衣服と靴をスノコ、分離板等で離して保管※4
 - 更衣前後利用経路を一方通行にする
 - 排泄物、汚泥等が付着した衣服・靴を洗淨・消毒

専用衣服※1と靴※2を設置
立入者は確実に着用する※3

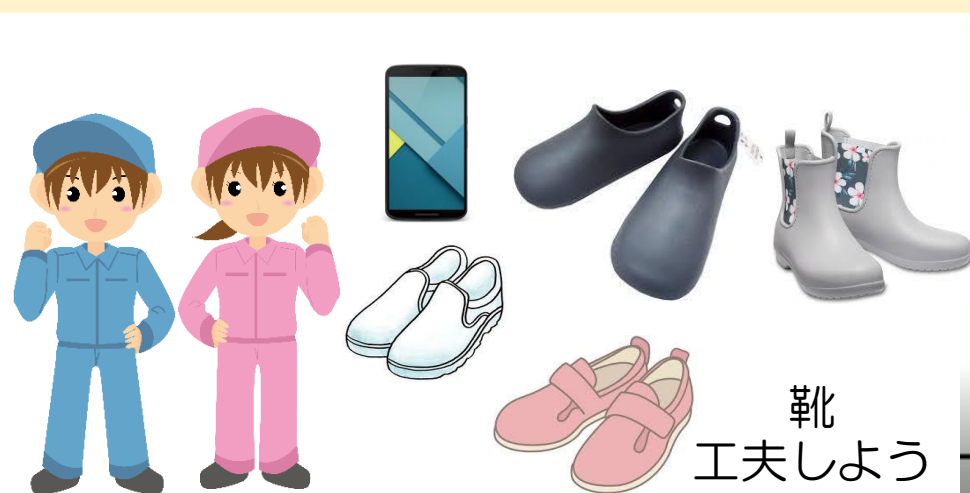
※1 上からの着用を含む

※2 ブーツカバーを含む

※3 その農場衛生管理区域専用衣服・靴を持参し、着用する場合を除く



※4 更衣による病原体の衛生管理区域への侵入を防ぐため



油断大敵

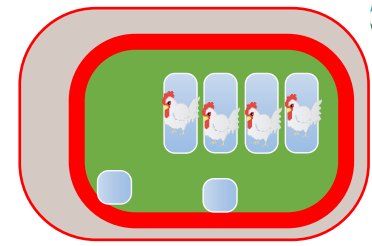


注意



Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔物品〕

15 衛生管理区域に立入車両の消毒等



新

旧

同じ ←

○車両進入者はその農場専用のフロアマットの
使用やその他の方法で、車内交差汚染防
止のための措置をとる
(運転手等が衛生管理区域内で降車しない場合を除く)

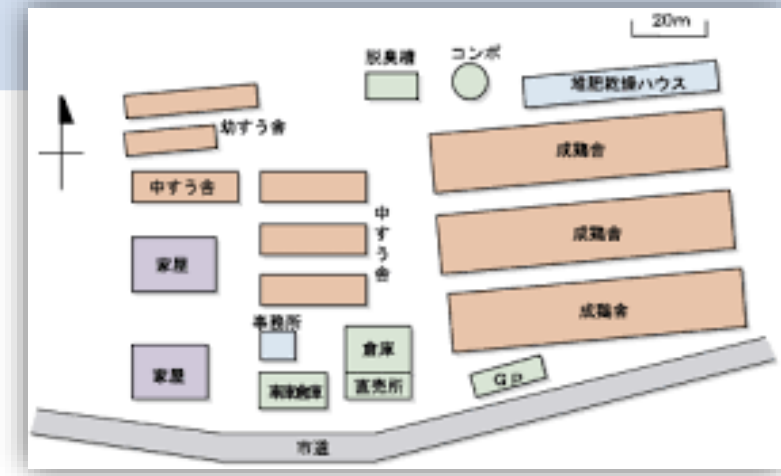
出入口付近に消毒設備設置
出入時、消毒設備を利用して車両消毒させる
(農場の消毒設備と同等以上の効果のある消毒設備を
携行し、出入口付近で消毒をする場合を除く)



過信禁物

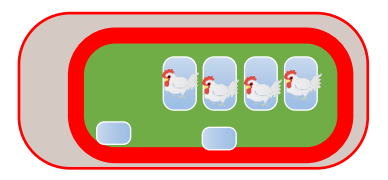


注意





Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔物品〕



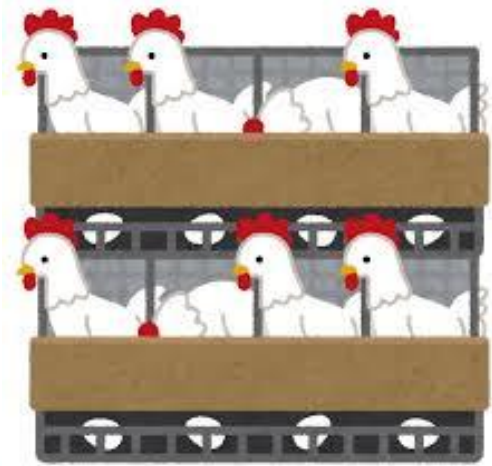
16 他畜産関係施設等使用物品の衛生管理区域持込時措置

新

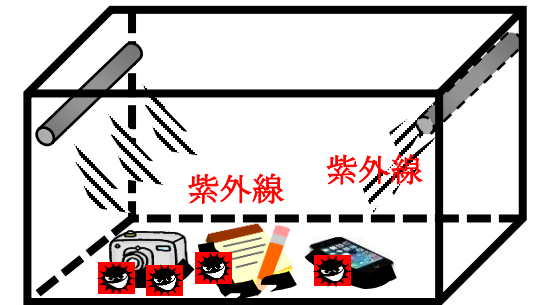
旧

他の畜産関係施設等で使用（使用したかもしれない）物品は、原則、持込まない
やむを得ず持込む時は、洗浄、消毒その他の
必要な措置をとる

他の畜産関係施設等で使用（使用したかもしれない）物品で、**家きん、死体、卵に直接接触するもの**を持込む時は、洗浄、消毒する
飼養管理に不要な物品は畜舎に持込まない



過信禁物



持ち込まない

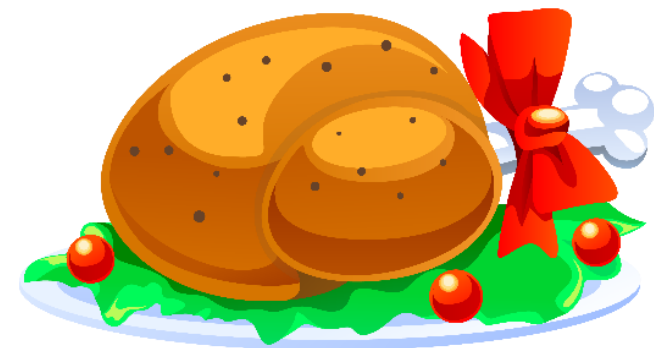
Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔物品〕

17 海外使用衣服等を衛生管理区域に持込む際の措置

新	旧
同じ ←	○海外使用(2ヶ月以内に)衣服・靴を持込まない ○やむを得ず持込む時は、洗浄・消毒その他の必要な措置をとる

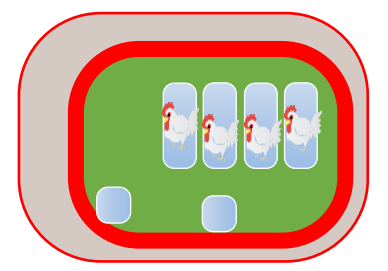


持ち込まない



Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔物品〕

18 飲用水給与

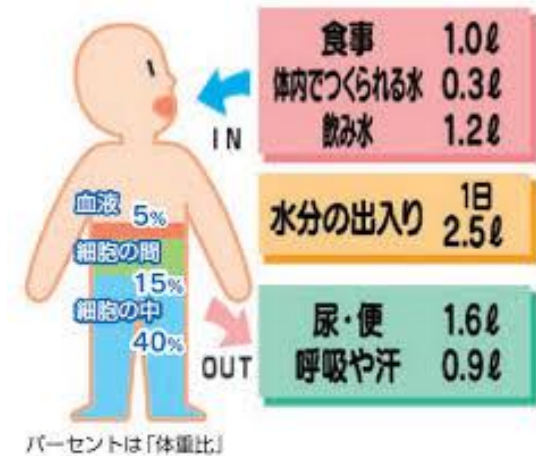


新

家きんに水道水等の飲用に適した水以外の水を給与する場合には、これを消毒する

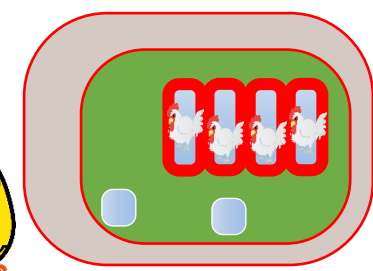
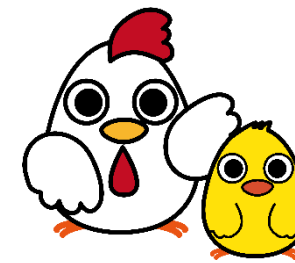
旧

野生動物の排せつ物などが混入する恐れがある水を飲用水として家きんに供与する場合には、これを消毒する

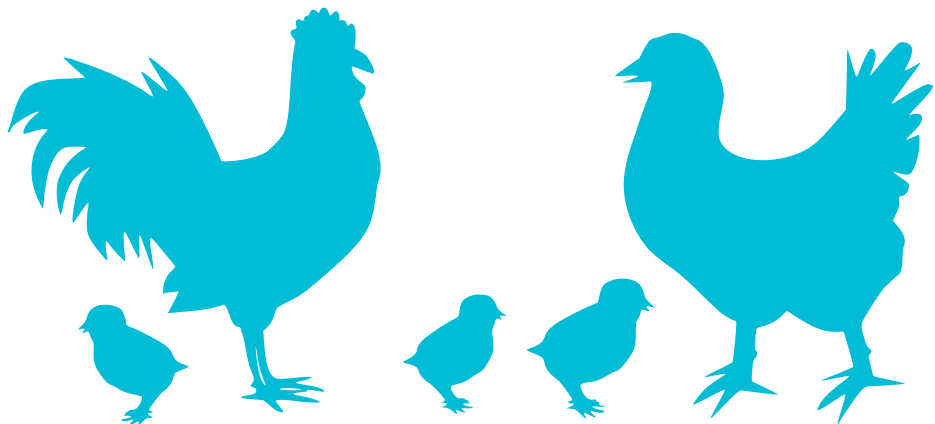




Ⅱ 衛生管理区域への病原体侵入防止〔鶏〕 19 家さん導入時の健康観察等



新	旧
同 ←	他の農場等からの家さん導入時、導入元の農場等の疾病発生状況、導入家さんの健康状態確認等により健康家さんを導入する
同 ←	導入家さんが伝染病にかかっている可能性がないことを確認するまでの間、他の家さんと直接接触させない





飼養衛生管理基準（鶏、家きん）



Ⅲ－ 衛生管理区域内の 病原体拡大防止

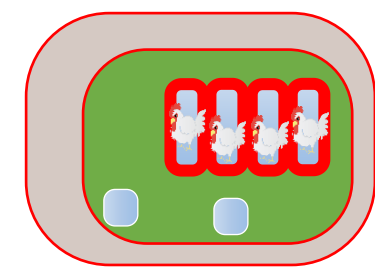


宮崎大学農学部獣医学科
産業動物衛生学研究室
末吉 益雄



Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔人〕

20 家きん舎立入者の手指消毒等

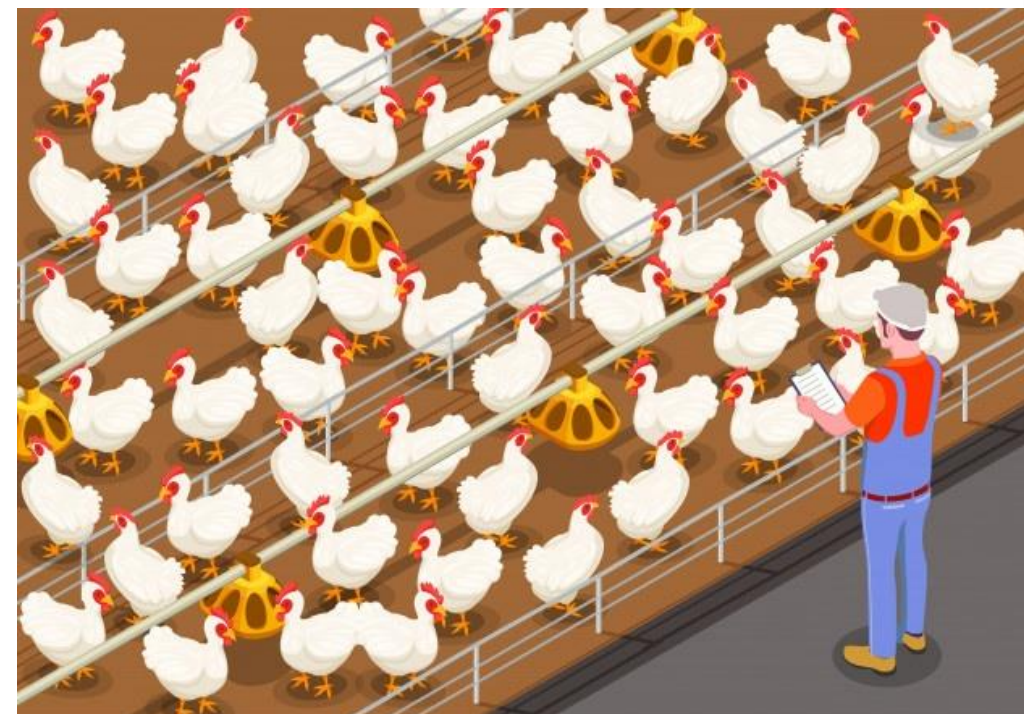


新

旧

同じ←
(その家きん舎専用手袋着用の場合を除く)

家きん舎の出入口付近に消毒設備を設置し、立入者に出入り時、手指の洗淨、消毒をさせる



注意

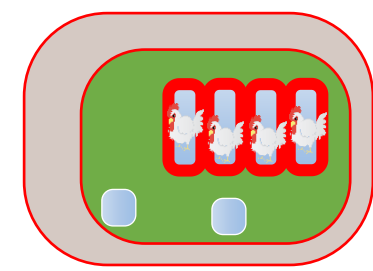
過信禁物



油断大敵



Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔人〕



21 家きん舎ごとの専用靴設置と使用

新

旧

同じ←

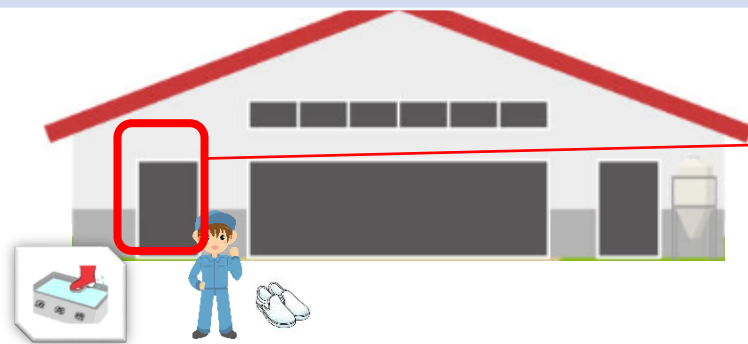
(衣服・靴が家きん舎外において病原体に汚染する可能性がない状況で行う家きん舎間の移動については、除外)

着脱前後の靴をスノコ、分離板等で場所を離して保管、かつ、履替前後の経路を一方通行にする(履替による病原体の畜舎への侵入を防ぐため)

家きん舎から家きん、堆肥等を搬出する時は、作業者の動線が家きん舎の内外で交差しないよう、家きん舎内外作業者を分ける、または専用靴の履替えその他の必要な措置をとる

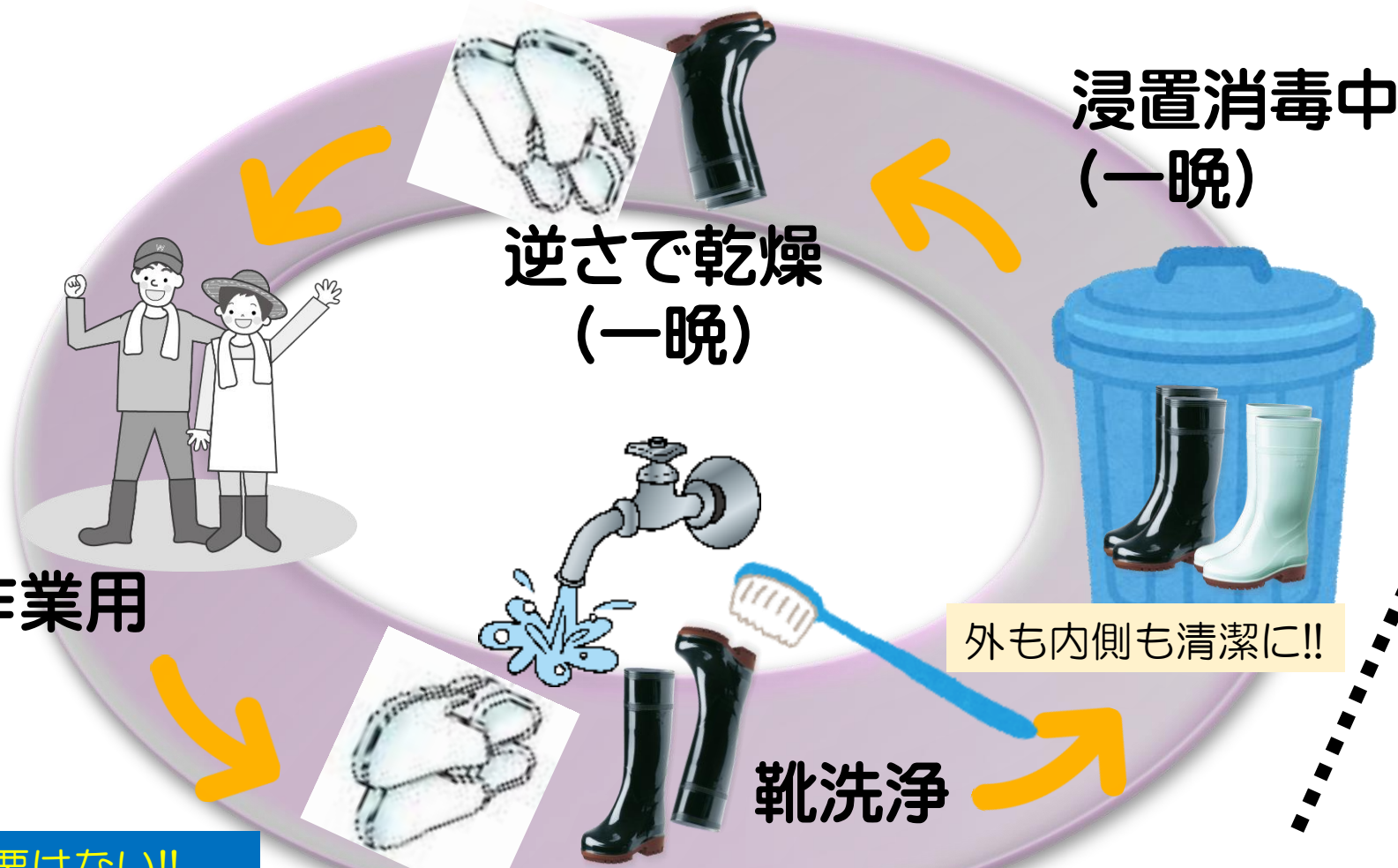
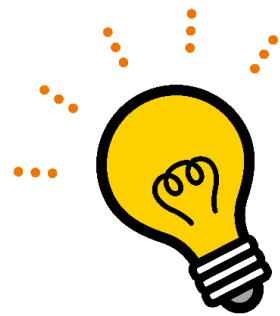
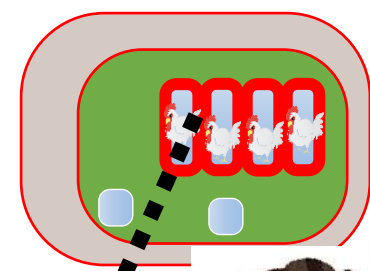
靴に排せつ物、汚泥等が付着したら洗淨・消毒を行う

家きん舎専用靴を設置し、家きん舎に入る者は着実に着用



Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔人〕

21 畜舎ごとの専用靴設置と使用



注意



長靴の必要はない!!
履き替えやすい、
滑らない作業靴で!!

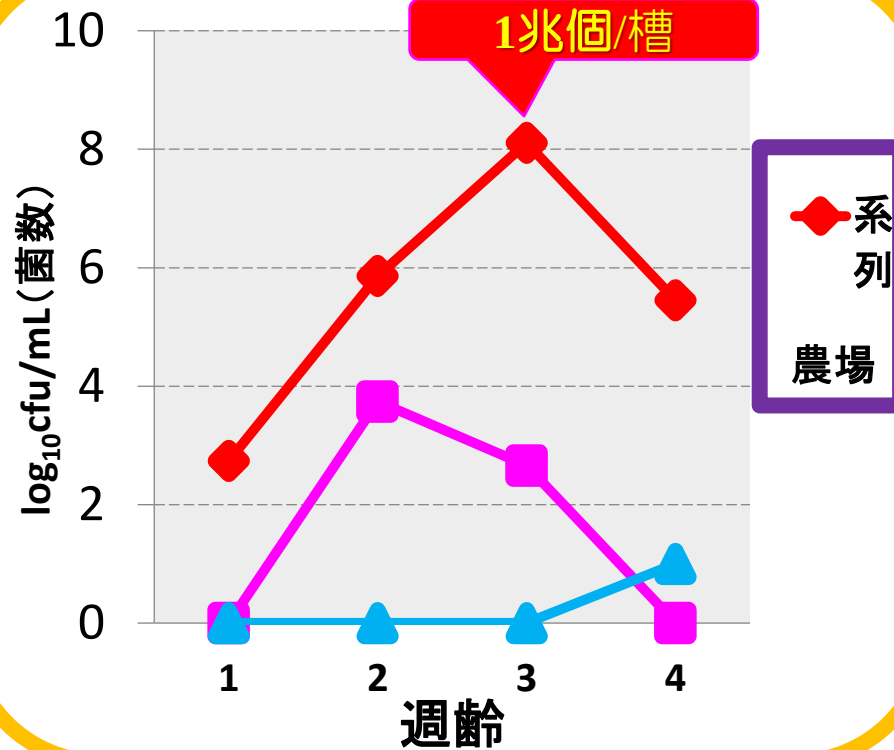
踏込消毒槽を浸置消毒槽にステップアップ
作業靴を、洗淨-消毒-乾燥-使用のサイクルとし、3セット/人で、毎日、履替

踏込消毒槽の衛生学的調査(山本ら)

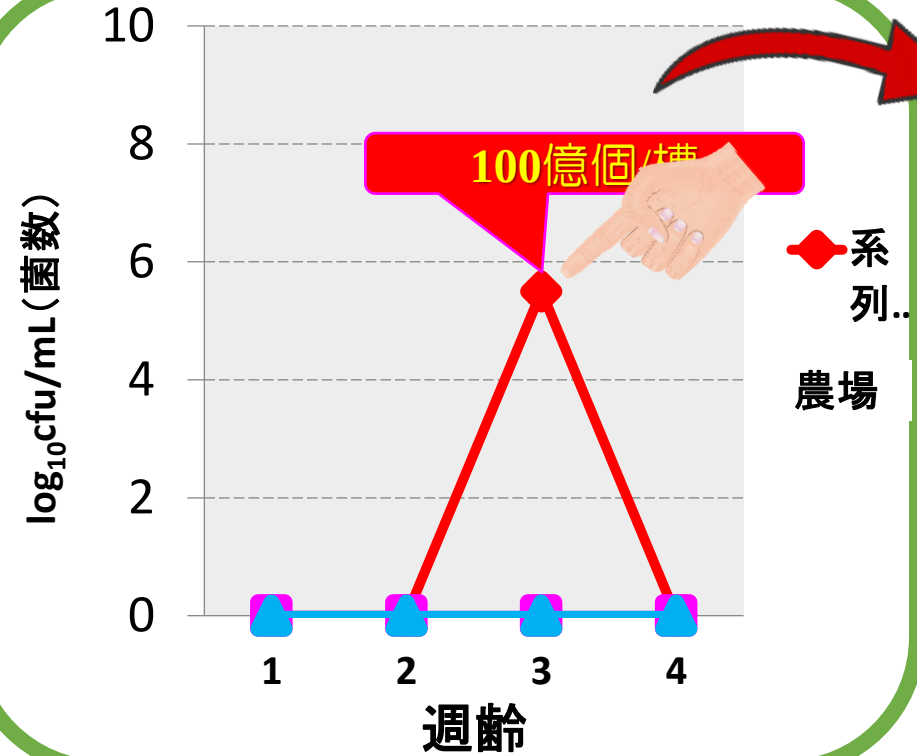
◆方法：鶏舎消毒液50ml採材→菌数測定

◆結果

一般生菌数



大腸菌群



踏込汚染槽



踏込消毒槽

卒業

靴服浸置消毒槽



出入口 (一方通行)

メンテナンス
濃度は？
更新は？
pHは？
排水口は？



注意



注意



注意



注意



OK!



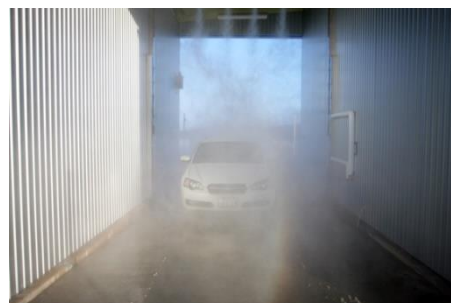
注意



注意



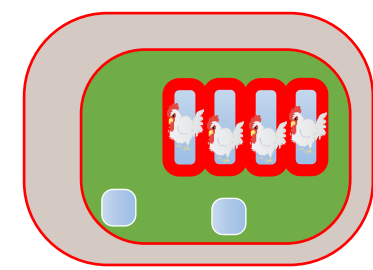
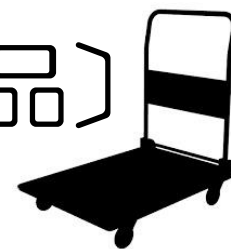
注意





Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔物品〕

22 器具の定期的な清掃・消毒等

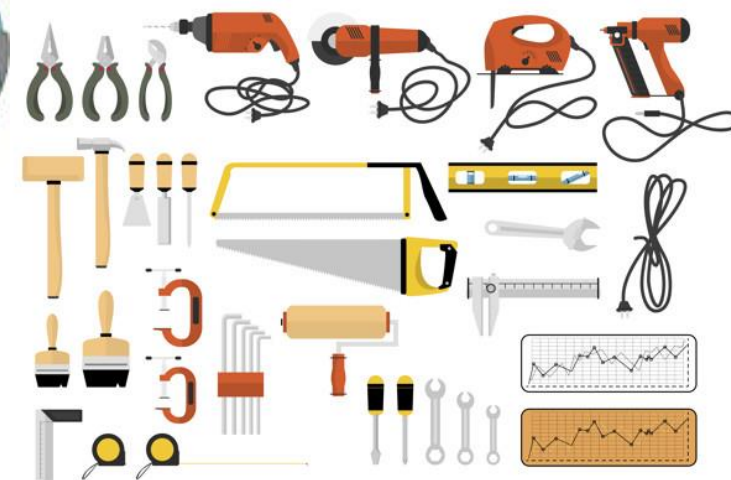
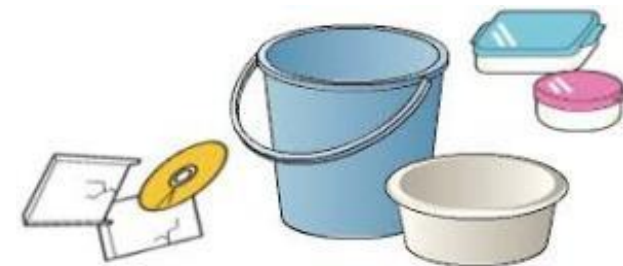


新

旧

飼養管理用の使用器具の定期的清掃、消毒

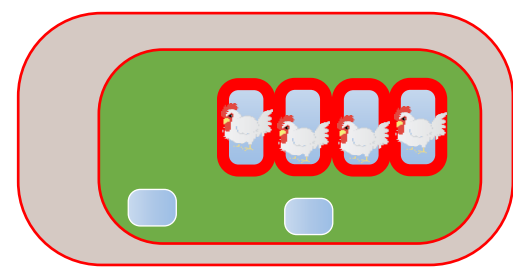
家きん舎、施設、器具の定期的清掃、消毒





Ⅱ 衛生管理区域内的病原体拡大防止〔物品〕

23 家きん舎外での病原体汚染防止



新

旧

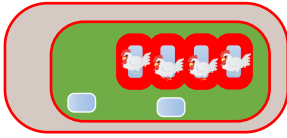
○飼養管理に不要な物品を家きん舎に持込まない

なし



Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔野生動物〕

24 野生動物侵入防止ネット設置、点検、修繕



新

旧

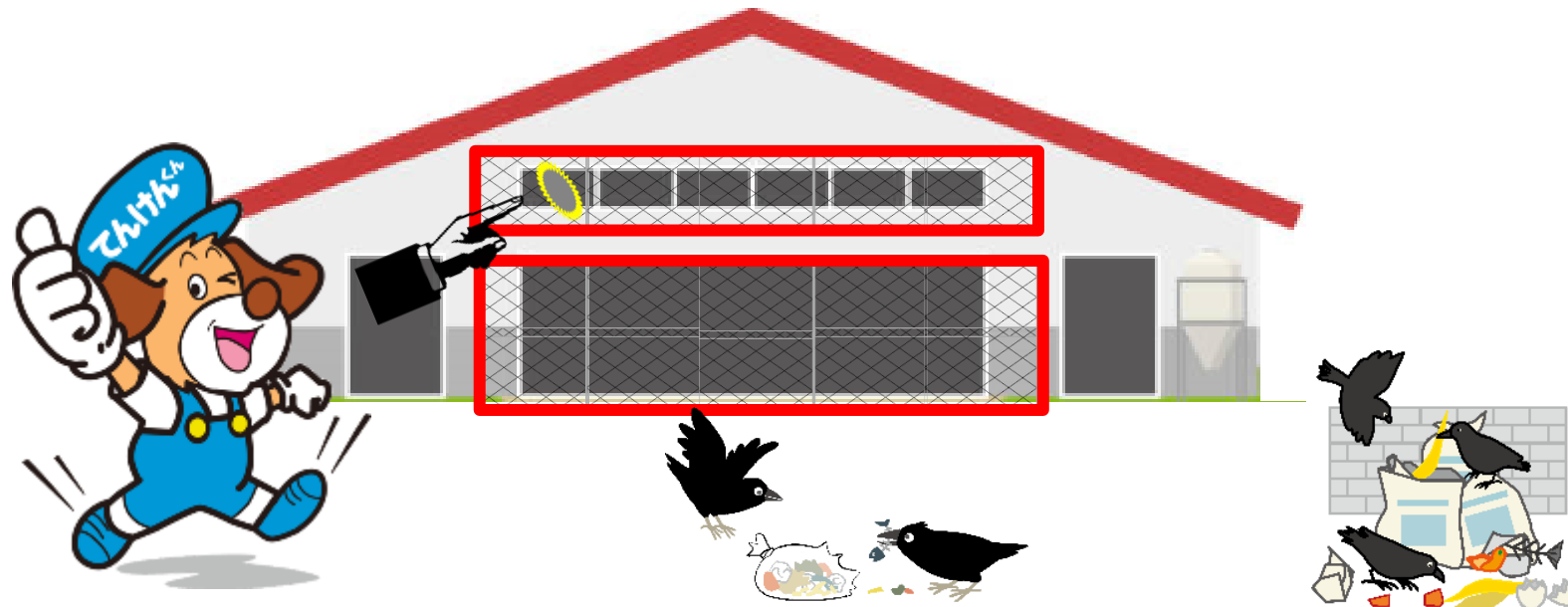
野鳥等・・・飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等・・・を設置

(施行: 2021. 10)

同じ

野鳥等・・・家きん舎、○、○、○への侵入防止用防鳥ネット（網目大きさが2cm以下または同等効果）その他の設備を設置

定期的にその設備の破損状況を確認し、破損がある場合には、すぐに修繕する



Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔野生動物〕

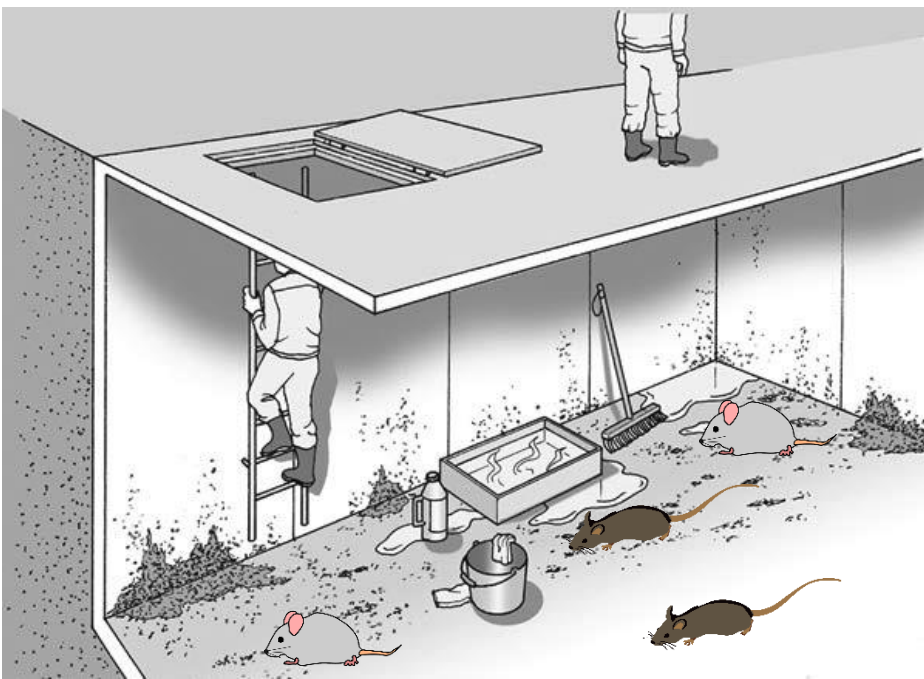
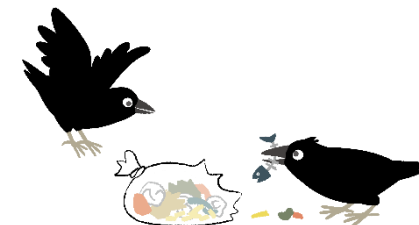
25 給餌・給水設備への野生動物の排せつ物等の混入防止

新

旧

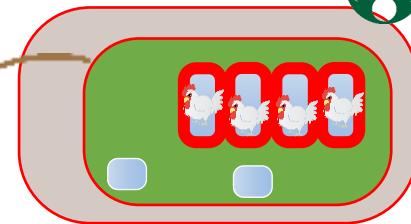
同

家きん舎の給餌・給水設備、飼料保管場所にネズミ・野鳥等の野生動物の排せつ物等が混入しないようにする



Ⅱ 衛生管理区域内的病原体拡大防止〔野生動物〕

26 ネズミと害虫駆除



新

旧

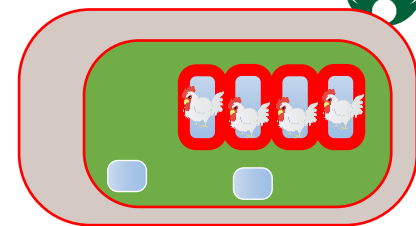
○ネズミ・・・殺そ剤・殺虫剤散布、
粘着シート設置など・・・措置をとる
同じ

○ネズミ、ハエ等の害虫の駆除を○、○、○など必要
な措置をとる
○家きん舎の屋根、壁に破損がある時は、すぐに修繕



Ⅱ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔飼養環境〕

27 衛生管理区域内の整理・整頓と消毒

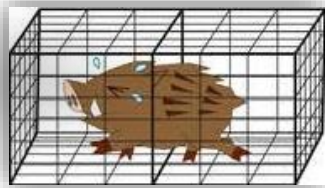
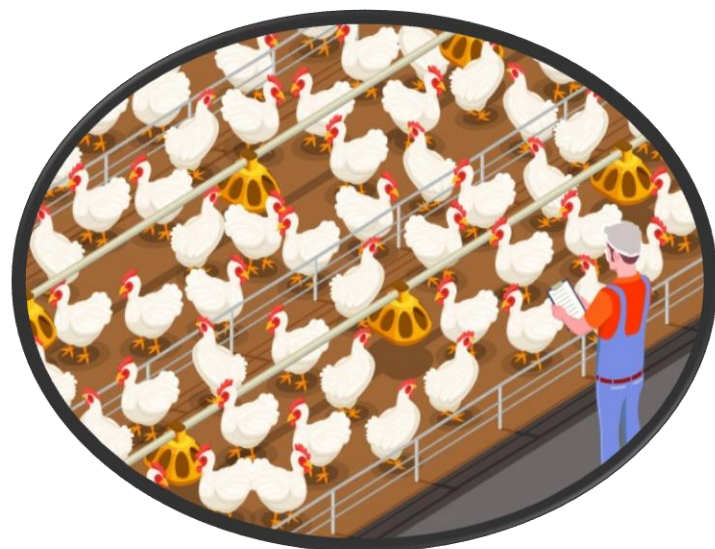


新

旧

衛生管理区域内は、不要な資材等の処分、除草、資材・機材等の整理整頓等を行って、敷地を定期的消毒

(ネズミ等の野生動物の隠れられる場所をなくし、病原体が侵入しても残存させないため)

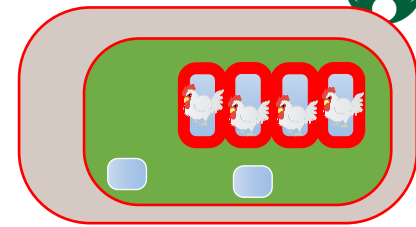


整理整頓



Ⅲ 衛生管理区域内的病原体拡大防止〔飼養環境〕

28 家きん舎等施設の清掃と消毒

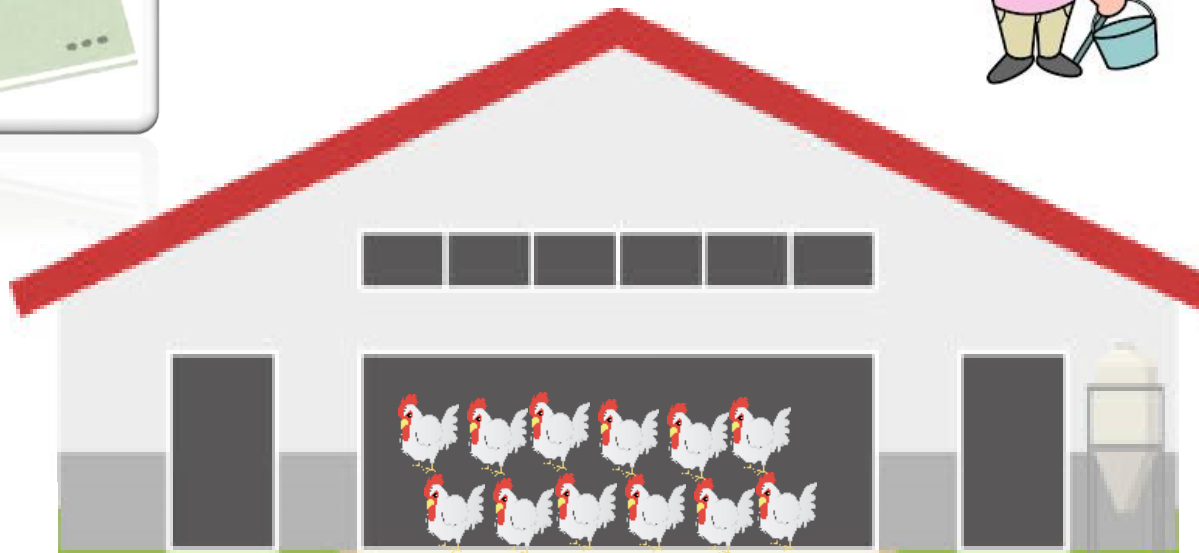


新

旧

家きん舎や衛生管理区域内的の施設を飼養衛生管理マニュアルに基づき定期的清掃・消毒

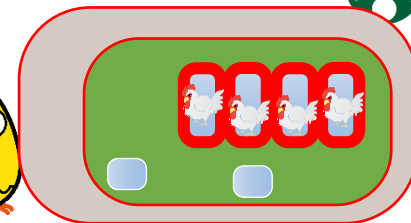
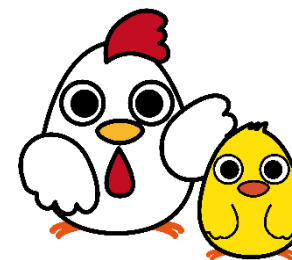
家きんの出荷(移動)により家きん舎(ケージ)が空になった時は、清掃・消毒





Ⅲ 衛生管理区域内の病原体拡大防止〔鶏〕

29 毎日の健康観察

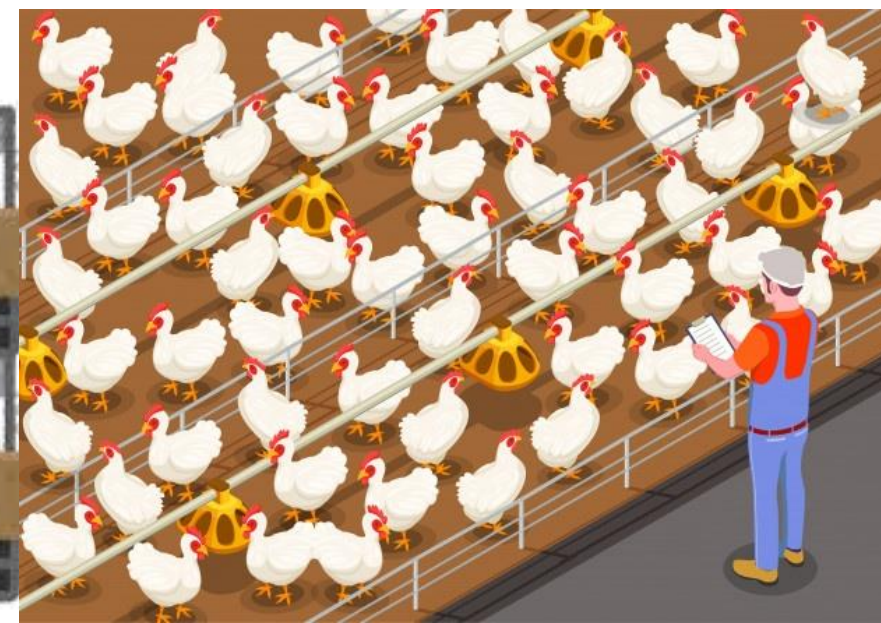
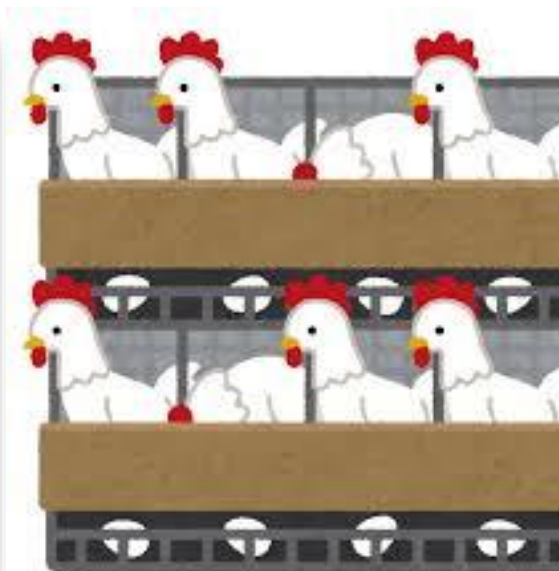


新

毎日の観察(健康状態、**ふ化**、**死亡状況**)を行う

旧

毎日の健康観察を行う



IV- 衛生管理区域外への病原体拡散防止

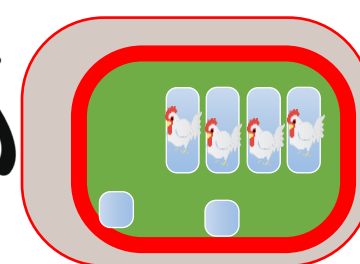


宮崎大学農学部獣医学科
産業動物衛生学研究室
末吉 益雄



Ⅳ 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔人〕

30 衛生管理区域から退出者の手指消毒等



新

旧

- 衛生管理区域の出口付近に消毒設備を設置
 - 退出者に手指の洗浄・消毒させる
- (農場消毒設備と同等以上の効果のある消毒機器を携行し、出口付近で消毒をする場合を除く)

なし



過信禁物

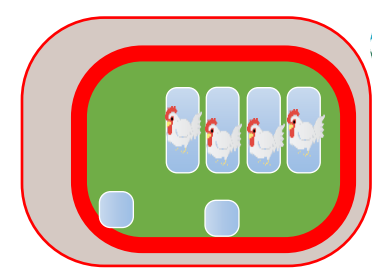
注意





Ⅳ 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔物品〕

31 衛生管理区域から退出車両の消毒



新

旧

○衛生管理区域の出口付近に消毒設備を設置

○退出車両を消毒させる

(農場の消毒設備と同等以上の効果のある消毒機器を携行し、出口付近で消毒をする場合を除く)

なし

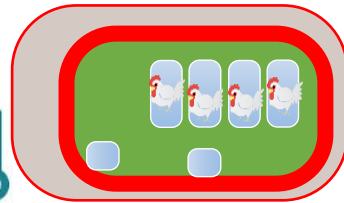
過信禁物 注意





Ⅳ 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔物品〕

32 衛生管理区域から搬出物品の消毒等

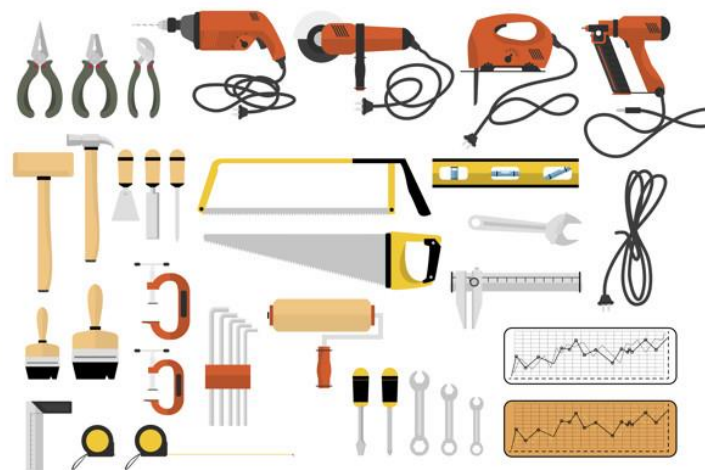


新

旧

糞等付着(したかもしれない)物品を持出す時は、洗浄、消毒等必要な措置をとる

なし



注意

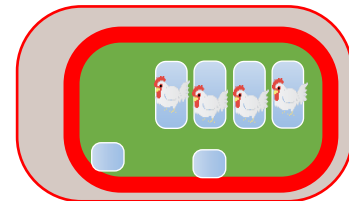
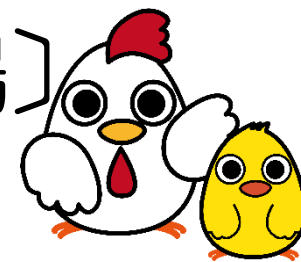
過信禁物





IV 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔鶏〕

33 家さんの出荷(移動)時の健康観察

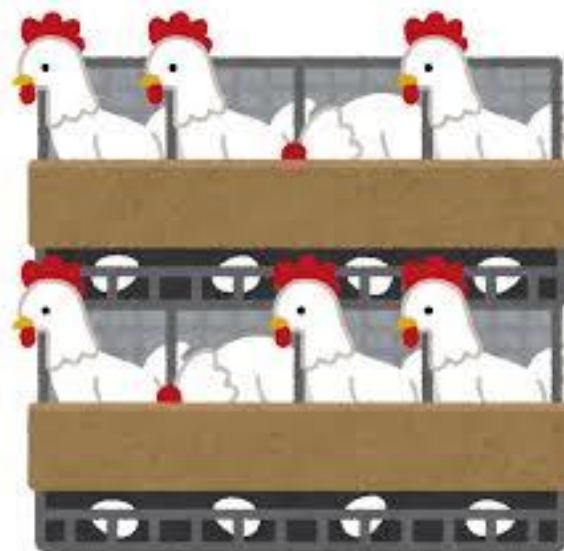


新

旧

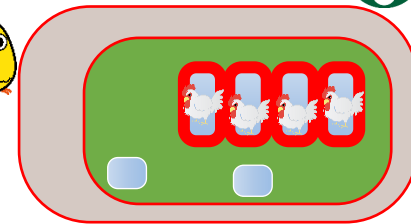
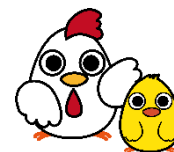
同

家さんの出荷(移動)時は、出荷(移動)直前の健康状態確認
家さんの死体や糞の移動時は、漏出させない

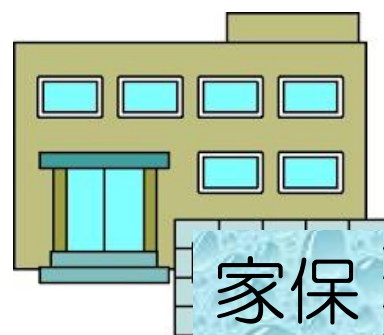
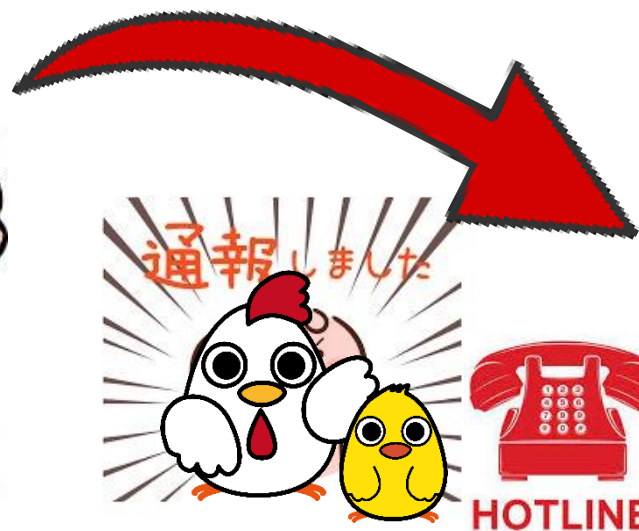




IV 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔鶏〕 34 特定症状確認時の早期通報、出荷・移動停止



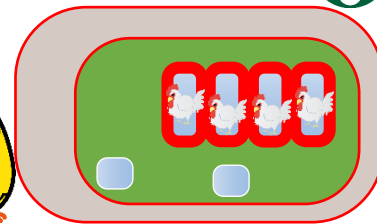
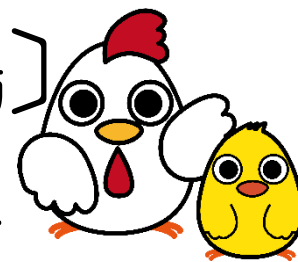
新	旧
同	○特定症状発見時は、すぐに家保に通報 ○農場から家きん、死体、畜産物、糞などの出荷(移動)しない ○不必要に、衛生管理区域内にある物品を持出さない





IV 衛生管理区域外への病原体拡散防止〔鶏〕

35 特定症状以外の異状時の出荷・移動停止



新	旧
同	○特定症状以外の異状で、急激な死亡率上昇、同様症状家さんの増加時は（明らかに違う場合を除く）、すぐに獣医師の診療・指導、または家保の指導を受ける ○監視伝染病否定確認まで、農場からの家さんの出荷（移動）しない ○監視伝染病であった時は、家保の指導に従う ○その他の特定症状以外の異状確認時、すぐに獣医師の診療、指導求める

